進入角指示灯（ＰＡＰＩ）	白熱電灯、上層航空白、下層航空赤、不動光	航空白最大十万カンデラ	滑走路両側で各灯火の間隔は約六十メートル	滑走路末端から着陸方向に向かって東側二百八十九メートル、西側二百六十三メートルの地点で滑走路中心線に対し左側に配置
滑走路灯	白熱電灯、航空可変白、航空黄、不動光	航空可変白一万四千カンデラ 航空黄六千三百カンデラ		
滑走路末端灯	白熱電灯、航空緑、航空赤、不動光	航空緑一万一千カンデラ 航空赤二千七百カンデラ	滑走路末端で滑走路中心線に直交する線上	
滑走路末端識別灯	キセノン放電灯、航空白、閃光、毎秒二閃光	実効光度航空白一万一千カンデラ	滑走路末端灯列の延長線上の両外側	
滑走路距離灯	白熱電灯、航空白、不動光		滑走路灯列の両外側で各灯火の間隔約三百メートル	
誘導路灯	白熱電灯、航空青、不動光	航空青七カンデラ	誘導路の両外側及びエプロンの外側	
	けい光放電灯、航空青、不動光	航空青十二カンデラ	誘導路の出入口	
風向灯	白熱電灯、不動光		滑走路西側中央より南西約三百メートル	
過走帯灯	白熱電灯、航空赤、不動光	航空赤千カンデラ	滑走路の過走帯の両外側及び末端	

五　運用時間

(一)　飛行場灯台　航空交通管制上必要な場合

(二)　その他の飛行場灯火　航空機の離着陸時等必要な場合

六　利用上の特記事項

(一)　飛行場灯台

構造　鉄骨造やぐら型塔上に回転式標示灯を置く

高さ　地表面より灯火まで約二十六メートル、平均水面より灯火まで約二十八メートル

(二)　滑走路灯及び滑走路末端灯

光度　飛行場周辺の気象状態に応じて百パーセント、二十五パーセント、五パーセント、一パーセント、〇・二パーセントの五段階に制御する

(三)　進入角指示灯及び誘導路灯

光度　飛行場周辺の気象状態に応じて百パーセント、三十パーセント、十パーセントの三段階に制御する

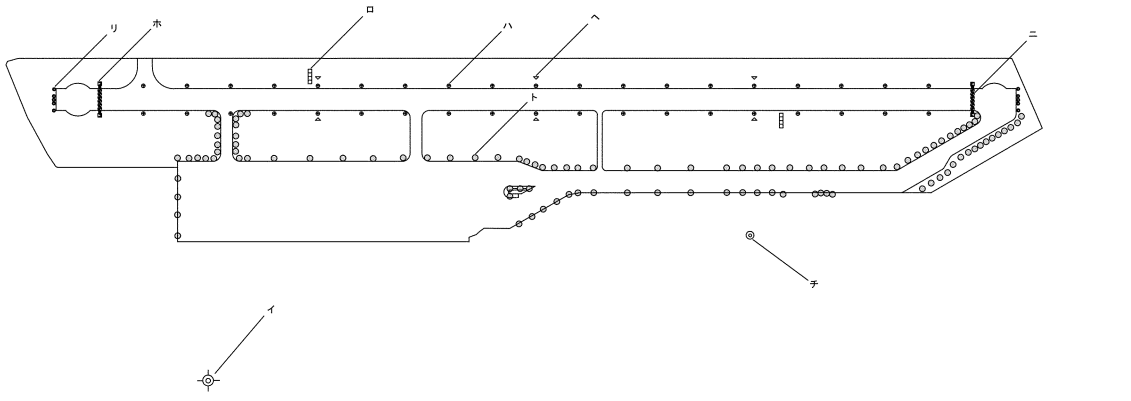
備考　飛行場内及びその周辺に、次のとおり航空障害灯を設置する。

位置　第二図のとおり

灯質　白熱電灯赤不動光

（添付図面　第一図、第二図）

大村飛行場　第一図



イ	飛行場灯台
ロ	進入角指示灯
ハ	滑走路灯
ニ	滑走路末端灯
ホ	滑走路末端識別灯
ヘ	滑走路距離灯
ト	誘導路灯
チ	風向灯
リ	過走帯灯